

神学・国際政治と良心

「良心」は同志社の建学の精神であるだけでなく、それ以前に西洋および東洋において長い議論の歴史を有している重要概念の一つでもあります。特に西洋における議論の担い手の一つは神学でした。しかし同時に、良心をめぐる議論は社会や政治の世界にまで及んでいます。本シンポジウムでは、佐藤優氏を講師として招き、神学や国際政治と良心の接点を探りながら、良心を考えることの現代的意義を明らかにしていきます。

- 日時：2017年 **12月15日**（金）16:40 — 18:40
- 場所：同志社大学 今出川キャンパス 神学館3階 礼拝堂
- 講師：佐藤 優

（作家、同志社大学 神学部 客員教授）

司会：小原 克博（同志社大学 神学部 教授、
良心学研究センター長）

コメンテーター：

木原活信（同志社大学 社会学部 教授）

深谷 格（同志社大学大学院 司法研究科 教授）



■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail: rc-csc@mail.doshisha.ac.jp <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。

講師略歴

佐藤 優（さとう まさる）

1960 年生まれ。作家、元外務省主席分析官。同志社大学神学部客員教授。85 年、同志社大学大学院神学研究科修了。外務省に入省し、在ロシア連邦日本大使館に勤務後、本省国際情報局分析第一課で、主任分析官として対ロシア外交の最前線で活躍。2002 年、背任と偽計業務妨害容疑で逮捕、起訴され、09 年有罪確定。05 年に発表した『国家の罫 外務省のラスプーチンと呼ばれて』で第 59 回毎日出版文化賞特別賞受賞。06 年『自壊する帝国』で第 5 回新潮ドキュメント賞、第 38 回大宅壮一ノンフィクション賞受賞。『獄中記』『私のマルクス』『いま生きる「資本論」』『ゼロからわかるキリスト教』ほか著書多数。

良心学研究センター主催 公開シンポジウムのご案内

- 1 月 22 日（月）16:40 - 18:40、今出川キャンパス 同志社礼拝堂
- 「我等、地（つち）に生きん——持続可能な社会と人間の責任」
- 【講師】小原克博（同志社大学 神学部 教授）、和田喜彦（経済学部 教授）
- 【コメンテーター】三俣 学（兵庫県立大学 経済学部 教授）